

## **第3章**

# **計画の基本的な考え方**



# 1 将来像

今後7年間の本市におけるスポーツ推進の基本的な考え方として、本市のスポーツを取り巻く現状を踏まえて、将来像と基本方針を次のとおり定めました。

## ◆将来像◆

### 夢と未来 みんながつながるスポーツのまち

本市では、乳幼児期の子供から高齢者、障がい者まで、すべての市民がスポーツを通じてつながり、目標や生きがいを育み、それぞれが思い描く夢や未来に向かって共に歩むことができるスポーツのまちを目指します。

## ◆基本方針◆

### 夢のある心豊かな子供の育成

子供の発達段階に応じ、スポーツに親しむことができる機会を充実し、すべての子供がスポーツを通じて心豊かに成長し、夢を育むことができる環境の整備を進めます。



### 誰もがいつまでも親しめる生涯スポーツの推進

個々の状況や特性、要望等に応じたスポーツ環境の整備を進めます。また、多様な市民が生涯にわたってスポーツに親しむことができる地域づくりを推進し、スポーツを通じた地域の活性化を図ります。



### ふじみ野から未来にはばたく人材の育成

本市から日本を代表し、世界で活躍するような、トップアスリートの輩出を目指します。また、経験や知識を地域に還元できる循環型の育成システムの確立に向けた取組を推進します。



### いつでもどこでも楽しめるスポーツ環境の整備

市民が安全に安心して利用できる環境整備を進めます。また、スポーツ指導者人材バンクの設置やスポーツ関係団体のネットワークの強化など、新たな取組を積極的に検討・実施します。



## 2 基本方針と目標

### 基本方針1 夢のある心豊かな子供の育成

本市では、0～14歳の年少人口の増加率が県内で最も高い水準となっており、子供のスポーツ環境を整備することは、まちづくりの観点からも重点課題の1つであると言えます。

乳幼児期に体を動かして遊ぶ経験は、その後の児童期、青年期へのスポーツに親しむ資質や能力の育成等に大きく影響するため、様々なスポーツに触れる機会を提供する必要があります。

また、子供の運動離れや基礎的運動能力の低下が懸念されており、学校教育等との連携を密にし、小中学校の体育活動や運動部活動への支援が求められます。

そのため、子供の発達段階に応じ、スポーツに親しむことができる機会を充実し、すべての子供がスポーツを通じて心豊かに成長し、夢を育むことができる環境の整備を進めます。

#### ■目標値

指標	単位	現状値 (平成28年度)	目標値 (平成33年度)
乳幼児期に体を動かして遊ぶことの必要性に関する教室等に参加した保護者の理解度	%	—	100.0
スポーツ指導者人材バンクの各中学校の利用度	%	—	100.0

## 基本方針2 誰もがいつまでも親しめる生涯スポーツの推進

ライフスタイルの多様化や就労環境の変化などにより、若者のスポーツ離れや体力の低下が問題となっています。また、本市では高齢者の健康づくりや障がい者の活動、外国籍市民との交流など、市民ニーズはますます多様化しており、そうした市民の現状やニーズを把握し、個々の状況や特性、要望等に応じたスポーツ環境の整備を進めます。

特に、障がい者スポーツを取り巻く環境の整備が、施設等のハード面と市民の意識や関心等のソフト面ともに、現状ではまだまだ進んでいません。

平成 26 年度より、全国障害者スポーツ大会<sup>※5</sup>などのスポーツ振興の観点から強い障がい者スポーツ事業が厚生労働省から文部科学省に移管され、スポーツ政策として一体的に推進されています。

本市においては、平成 25 年度からスポーツ振興課が教育委員会から市長部局へ移行されており、市全体のスポーツに関わる事業の中心的な役割を担っていることから、障がい者スポーツへの認知度の向上に向けた取組や、障がい者が自主的かつ積極的にスポーツを行うことができる環境の整備を総合的・計画的に推進します。

なお、2020 年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けては、高まる機運を活用し、多様な市民が生涯にわたってスポーツに親しむことができる地域づくりを推進し、スポーツを通じた地域の活性化を図ります。

### ■目標値

指標	単位	現状値 (平成28年度)	目標値 (平成33年度)
障がい者チャレンジスポーツ大会・教室に対する参加者の満足度	%	100.0	100.0
週1回以上スポーツをする19歳以上の市民の割合	%	36.5	50.0

※5 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会、文部科学省、ならびに開催地都道府県・政令指定都市および開催地市町村等が主催する国内最大規模の障がい者スポーツの総合大会。競技等を通じてスポーツの楽しさを体験すること、国民の障がいに対する理解を深めること、障がい者の社会参加の推進に寄与することを目的としている。

### 基本方針3 ふじみ野から未来にはばたく人材の育成

スポーツ大会等における本市の選手の活躍は、多くの市民に喜びを与えらるとともに、スポーツに対する興味や関心を高めるため、競技スポーツの育成環境や支援体制の更なる充実が期待されます。

そのため、トップアスリートやスポーツ専門関係団体・企業等との連携を強化し、教室や事業を実施することで将来的に本市から日本を代表し、世界で活躍するような、トップアスリートの輩出を目指します。

また、本市の実施する様々な教室や事業により育まれた、豊かな経験と知識を有する人材が次世代の指導者となり、将来的にその経験や知識を地域に還元できる循環型の育成システムの確立に向けた取組を推進します。

#### ■目標値

指標	単位	現状値 (平成28年度)	目標値 (平成33年度)
スポーツ専門関係団体・企業等との協定数	協定	1	5
スキルアップ教室に対する中学校生徒の参加率	%	43.7	60.0



市民スポーツフェスティバル（幼児宝さがし競争）

## 基本方針4 いつでもどこでも楽しめるスポーツ環境の整備

スポーツ施設の老朽化及び利用者ニーズの多様化が進んでおり、既存施設の活用方法や改修・整備の方向性の検討、利便性の向上、危機管理体制の充実など、市民が安全に安心して利用できる環境整備を進めます。

また、専門性を有する指導者の育成と活躍の場の創出が求められており、スポーツ指導者人材バンクの設置やスポーツ関係団体のネットワークの強化など、新たな取組を積極的に検討・実施します。

### ■目標値

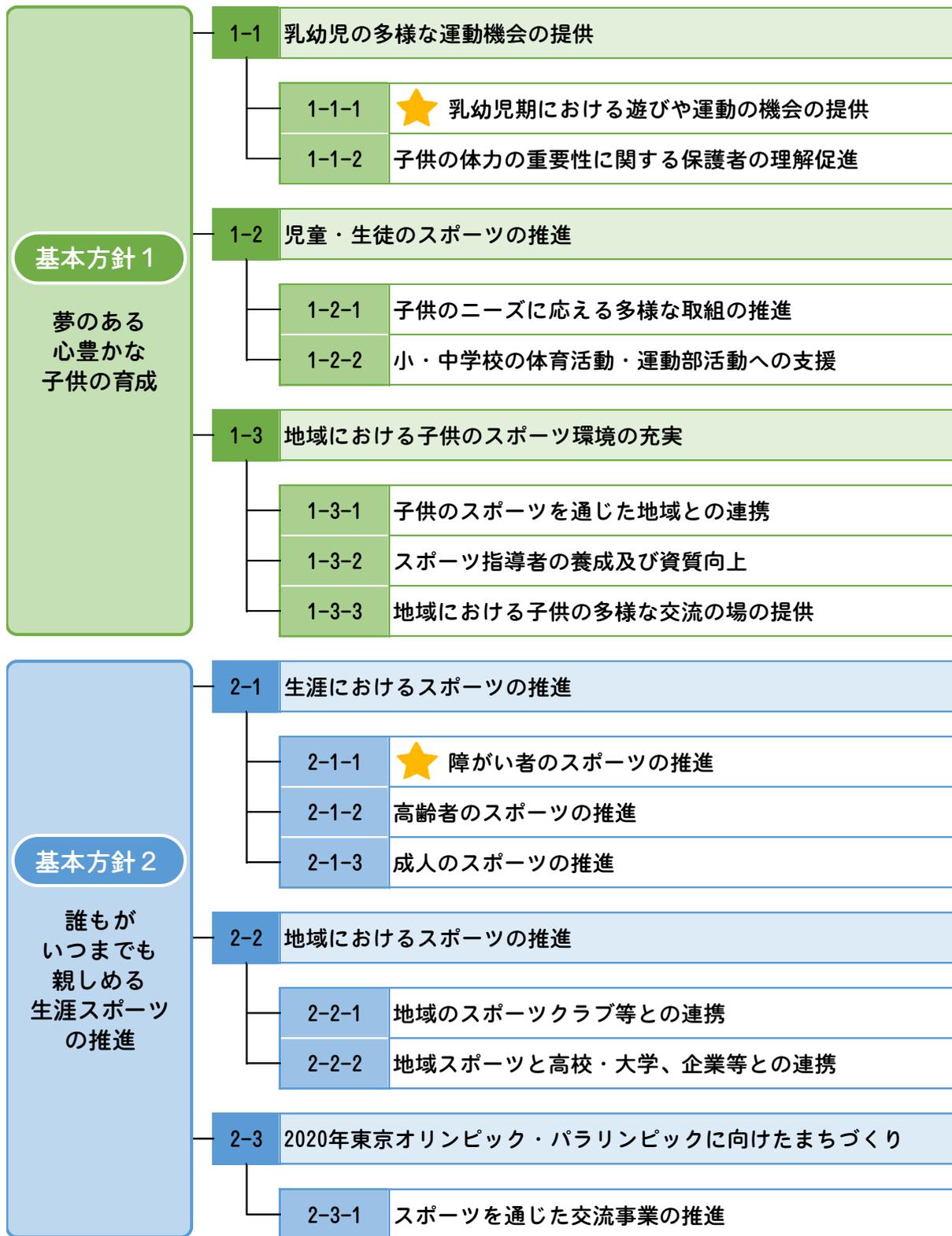
指標	単位	現状値 (平成28年度)	目標値 (平成33年度)
市内のスポーツ環境の満足度	%	18.9	30.0
スポーツ指導者人材バンク登録者の登用率	%	—	100.0



ノルディック・ウォーク

### 3 施策体系

★ は本計画における重点事項



★は本計画における重点事項

